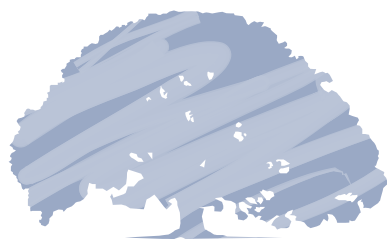


京都大学 ジョン万学生派遣 プログラム

Kyoto University Young Scholars Overseas Visit Program:

The John Mung Program

The Overseas Visit Program for Students



As part of the John Mung Program, the Overseas Visit Program for Students seeks to cultivate advanced expertise, international competence, and a high degree of ambition by giving students the opportunity to study at leading overseas universities and pursue their interests in some of the highest-level study and research environments in the world.



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

総長ご挨拶

京都大学総長 山極 寿一



京都大学は次世代のグローバルリーダーとなる人材育成を目指して、若手人材海外派遣事業「ジョン万プログラム」を実施しています。その一環を成す学生派遣事業は、本学の学生を世界のトップ大学に派遣し、最高水準の学習・研究環境の下で、自らの課題に挑戦する機会を提供することを目的としたものです。将来、主導的な役割を担う上で求められる人としての素養・高度な専門性・国際性の涵養もさることながら、世界的活躍に欠かせないネットワーク構築の機会提供も本プログラムの重要な狙いです。

本事業の名称は江戸時代後期に渡米し、明治時代に英語学者・通訳者として活躍したジョン万次郎（1827~1898年）に由来しています。ジョン万次郎は米国で体得した知識・経験を礎に日本の近代化の一役を担い、開国後の日米関係推進においても重要な役割を果たしました。数奇な運命の中で自らの道を切り開いていったジョン万次郎にならい、志高く、次世代を世界の舞台に牽引していける人材の育成を目指しています。

京都大学は「地球社会の調和ある共存」を共通のテーマとして掲げています。本プログラムを足掛かりとして世界に飛び立ち、それぞれの分野の最前線を羽ばたいて、本テーマの実現へ向けて貢献してほしいと願っております。

オックスフォード大学

Dr. Charles Boyle

Director, British and Cultural Studies
Department for Continuing Education



オックスフォード大学で学ぶ理由

【世界的評判】

オックスフォード大学は長い歴史と伝統を誇る世界でも有数の大学で、学術・研究分野において世界的な高評価を受けています。

【特色ある学習環境】

長い歴史を誇るカレッジでの学習・生活体験はオックスフォード大学生の生活を実際に体験できる貴重な機会です。

【教育の高い質】

提供するコースを通して学問的チャレンジ・知的探求が可能です。

【最新の学習設備】

世界トップクラスの図書館や施設・設備を利用することができます。

【個別配慮】

少人数のグループ学習により高度な個別配慮が保証されます。

ケンブリッジ大学

ケンブリッジ大学工学研究科教授

曾我 健一

京都大学大学院 工学研究科修士課程・平成元年修了



ケンブリッジ大学ではニュートンやダーウィンが残してくれた偉大な足跡を辿りながら、現代を生きる我々は科学界や自然界の謎を解き明かすことを目標にしています。大学のモットーはラテン語で“Hinc lucem et pocula sacra”で、英訳すると“From this place, we gain enlightenment and precious knowledge”です。

自らの限界に挑みつつ、その努力や想像力によって新たな知識を創造していくことは万国共通だと思います。昨年度は1名の学生が本奨学制度の援助でケンブリッジ大学に短期留学し、こちらの研究者や学生と「知識」の交流をされました。このような交流を通して、日本国外の人たちがどのように考えているか若い時に感じ取って、さらに一緒に新しい道を開拓していただければ幸いです。

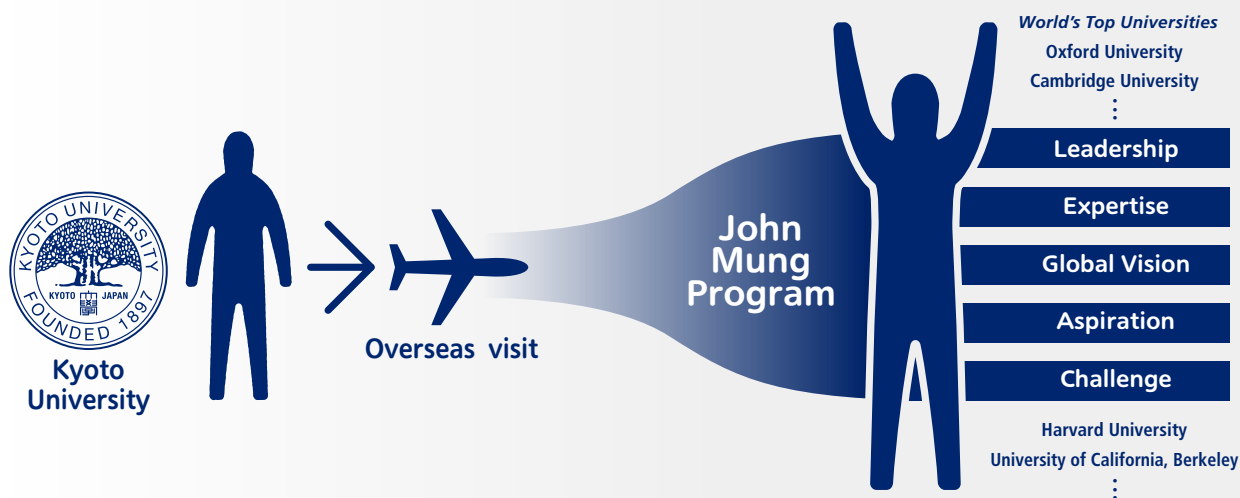
The John Mung Program

ジョン万プログラム趣旨



ジョン万学生派遣プログラムは、本学の学生を世界のトップ大学に派遣し、最高水準の学習・研究環境の下で、自らの課題に挑戦する機会提供を通して、高度な専門性、国際的素養及び高い志を育むことを目指します。

対象者には、大学から授業料・滞在費等を奨学支援します。派遣先で構築したネットワークを生かしつつ、世界を舞台に活躍する若きリーダーの育成が本プログラムの目的です。



ジョン万プログラムの名称について

John Mung



ジョン万次郎（中濱 萬次郎）1827～1898

ジョン万プログラムは、幕末から明治のはじめに活躍したジョン万次郎にちなんで命名されました。

ジョン万次郎（中濱萬次郎）は、土佐国土佐清水の漁師でしたが難破して、米国の捕鯨船に助けられ、捕鯨船の船長であったホイットフィールドの養子となり、同船長により航海学校への就学支援を受け、英語・数学・測量技術・航海術・造船技術を学び、学校を首席で卒業しました。ジョン万次郎は、後に、米国船により帰国しました。

当時日本は、まだ鎖国状態でしたが、やがて、米国、英国、フランスなどの欧米諸国と条約を締結し、国を開きました。ジョン万次郎は、土佐藩教授、幕府教授を経て、明治時代には、明治政府の開成学校教授として英語を担当し、たくさんの若者を育てました。彼の教えにより、多くの若者が、英国、米国をはじめとする海外の大学に留学し、後に、教育研究分野をはじめ政財官でリーダーとして活躍しました。

ジョン万次郎や彼の教えにより海外に雄飛した若者たちのように、国際人として活躍できる人材を育成したいというのが、「ジョン万プログラム」の最も目的とするところです。

The John Mung Program

学生派遣プログラム概要

例：平成 26 年度 プログラム一覧



オックスフォード大学
特別サマースクールプログラム

■ オックスフォード大学 特別サマースクールプログラム

本プログラムは、Academic Writing などの英語クラスや英語で行う専門科目の受講を通して、将来の活躍に必要な英語力、国際性の育成を目指すプログラムです。本プログラム参加者はオックスフォード大学生さながらのカレッジ生活を体験することができ、更に、本学の複数学部・研究科の仲間たちと切磋琢磨しながら、英語の高度な応用力を習得することができます。

■ ケンブリッジ大学 CMS 学位取得型長期研究派遣プログラム

本プログラムは、CMS で 11 ヶ月間の正規コースを受講し、学位取得 (MPhil in Computational Biology) を目指すプログラムです。独創的な発想の出来る、高い技術力を有する自立的な研究者を育成することがプログラムの狙いです。

■ 短期研究型派遣プログラム

本プログラムは、各受入先大学の協力を得て、修士課程および博士後期課程の学生をそれぞれの専門に合った世界のトップ大学の研究科に派遣するものです。各受入先大学・機関の指導教員の指導を受けながら、1 年未満の期間において非正規生として研究活動および資料収集を行うことを目的とします。

- オックスフォード大学東洋学 Faculty of Oriental Studies
- オックスフォード大学 RDM Radcliffe Department of Medicine
- ケンブリッジ大学物理学 Department of Physics
- ハーバード大学 The Graduate School of Arts and Sciences
- マサチューセッツ工科大学 Massachusetts Institute of Technology
- オックスフォード大学化学 Department of Chemistry
- オックスフォード大学環境学 School of Geography and Environment
- ケンブリッジ大学工学 Department of Engineering
- カリフォルニア大学バークレー校 University of California, Berkeley

■ カリフォルニア大学短期留学プログラム

本プログラムは、カリフォルニア大学バークレー校の社会学、人文学、生物学、数学のいずれかの分野の授業をバークレー大学の学生と共に履修しながら、世界トップ大学の学部生として 1 セメスターを過ごすことを通じて専門的知識、並びに国際的素養の習得を目的とします。

■ スタンフォード VIA 留学プログラム

本プログラムは、スタンフォード大学内に所在する VIA (Volunteer in Asia) という米国 NPO 団体が 50 年前から継続的に主催しているアジア学生向け（参加国：日本、台湾、中国、韓国）の約 2 週間のプログラムで、NPO 団体や医療機関などを訪問することを通して社会、教育、医療などのグローバル問題への知識を深めます。また、クリティカルシンキングやプレゼンテーションスキル向上を図りながら、リーダーシップ形成を目指します。

- Global Leadership & Engagement (GLE) プログラム
- Exploring Social Innovation (ESI) プログラム
- Exploring Healthcare (EHC) 医学留学プログラム
- Design-thinking for Social Innovation (DSI) プログラム

■ オックスフォード大学 Pre-Master's Spring School プログラム

本プログラムは、世界のトップ大学への研究留学を目指す学生を対象とした準備講座であり、そのために必要な英語力や学術スキルの習得を目的としたものです。オックスフォード大学のカレッジ生活を体験しながら、学術文章力、クリティカルシンキング能力などのアカデミックリテラシーの向上を図ります。IELTS 7.5 程度の英語力習得が本プログラムの到達目標であり、参加者全員プログラム修了時に IELTS を受験します。

■ 大学間学生交流協定に基づく東アジア短期プログラム

本プログラムは、海外への留学を希望する学生に対し、東アジアでの海外体験留学等の機会を提供することにより、東アジアへの理解を深めることを目的としたものです。ジョン万プログラムでは一部の参加者に対する奨学支援を行っています。

- 国立台湾大学サマープログラム
- 慶北大学校夏休み短期文化研修プログラム
- 香港中文大学インターナショナルサマースクール (中国語コース)
- 西安交通大学サマースクールプログラム
- 延世大学スプリングスクール
- 浙江大学スプリングスクール



スタンフォード VIA 留学
プログラム



法学部 3年
石原 佳代子

オックスフォード大学
特別サマースクールプログラム
2014.8.16 - 9.15

午前は IELTS 対策や presentation skill を強化する英語集中講義、午後は専門講義 Tinderbox Europe を選択し、EU 諸国が抱える問題について多角的に学びました。思考や会話が全て英語に切り替わったことで英語力が驚くほど向上したことはもちろん、presentation や discussion 中心の授業を受講したことで、社会を取り巻く複雑な諸問題について自分の頭で論理的に、時に批判的に考え、他者と積極的に議論する中で更に考えを深めるという姿勢を学びました。専攻も学年も多様な参加者同士親交を深め、議論できるのも本プログラムの魅力です。世界最高峰の大学で学ぶ一夏は全参加者にとって知的好奇心を多に刺激し、世界で活躍するための礎となるものと確信しています。



工学研究科 電子工学専攻
修士課程 1年
清水 太一

ケンブリッジ大学工学
短期研究型派遣プログラム
2014.9.18 - 11.1

ケンブリッジは中世ヨーロッパの世界観を持つ、とても美しい街で多くの観光客が訪れます。しかし留学目的で滞在した場合、楽しめるのは美しい風景だけではありません。現地には世界中から集まり、国際舞台を見据え、日々の意識を高く持つ、多様な学生たちがいます。彼らとの様々な交流の中で、様々な経験を積み、新たな目標を見つけるなどして、自身の未来へポジティブにつなげていける事を願っています。



文学研究科 行動文化学専攻
言語学専修 博士課程 1年
大西 貞剛

ハーバード大学
短期研究型派遣プログラム
2015.1.22 - 4.19

ハーバード大学短期研究型派遣プログラムはハーバード大学に1セメスターの間 special student もしくは visiting fellow として滞在するものです。現地で受講する講義や演習に加え、授業以外にも研究発表やトークを聞く機会もありとても刺激になります。また、図書館の豊富な資料にアクセスできるのも極めて魅力的です。短い期間ですが、受身になるのではなくこちらからアプローチすることを心掛けて、自分の研究の相談をしたり、勉強会などにも顔を出させて頂いたりしました。



工学部 物理工学科 2年
門田 信幸

スタンフォード VIA プログラム
Global Leadership &
Engagement (GLE)
2015.2.6 - 2.16

ボランティア精神、多様性の尊重の大切さについて学び、国際的なリーダーシップ感覚のヒントをつかめたように思います。アジア各国からの学生と直接話し、帰国後も切磋琢磨できる関係を築けたことが私にとって最も有意義でしたが、他にもトップ大学スタンフォードの教育に触れ、企業訪問を行ってシリコンバレー文化を学んだり、ホームレス人口の多い地区で奉仕活動をしたりなど、通常得難い経験ができた密度の濃い 11 日間でした。英語力など課題も見つかりましたが、参加して本当に良かったと思っています。



学生派遣プログラムの手続きの流れ

留学計画 情報収集

●留学先の選定

応募可能なプログラムの最新情報をジョン万HPにて確認してください。

●費用の準備

プログラムにより異なりますが、渡航費や海外旅行保険代が必要となります。

(参考：オックスフォード大学特別サマースクール・Pre-Master's Spring School プログラムの場合は、渡航費と海外旅行保険代として約15～20万円必要。長・短期研究型プログラムの場合は、海外旅行保険代のみ必要。)

英語スコア の取得

●英語力の取得・スコアの用意

日頃からTOEFL、IELTSの試験を受験し、プログラム参加にあたり必要とされるスコアの取得に努めてください。ジョン万学生派遣プログラムは原則として1学年に1プログラムにしか参加できませんが、留学希望の前年度に英語スキルアップを目的としたサマープログラムやスプリングプログラムに参加し、スコアアップを図ってください。

試験の実施日が限られていることや、申込からスコア証明書の取得まで約2か月かかるものもあることに充分注意が必要です。

●応募プログラムごとのスコア条件を確認

応募資格のスコアを事前に確認し、応募時にスコア提出ができるような計画を立ててください。1、2年前から準備を始めることをお勧めします。

プログラム応募に必要な英語資格（一例）

	IELTS	TOEFL iBT
オックスフォード大学 特別サマースクールプログラム	6.0 以上	80 以上
オックスフォード大学 Pre-Master's Spring School プログラム	6.0 以上	80 以上
カリフォルニア大学バークレー校 短期留学プログラム	7.0 以上	80 以上
カリフォルニア大学バークレー校 短期研究型派遣プログラム	7.0 以上	80 以上
ケンブリッジ大学工学 短期研究型派遣プログラム	6.0 以上	80 以上
オックスフォード大学 RDM 短期研究型派遣プログラム	6.5 以上	88 以上
オックスフォード大学東洋学 短期研究型派遣プログラム	7.0 以上	100 以上
オックスフォード大学 環境学 短期研究型プログラム	7.0 以上	100 以上
オックスフォード大学化学 短期研究型派遣プログラム	7.0 以上	100 以上
ケンブリッジ大学 CMS 学位取得型長期研究派遣プログラム	7.0 以上	100 以上
ハーバード大学 短期研究型派遣プログラム	—	90～100
ケンブリッジ大学物理学 短期研究型派遣プログラム	6.0 以上	88 以上
マサチューセッツ工科大学 短期研究型プログラム	6.5 以上	88 以上
スタンフォード VIA 留学プログラム	6.0 以上	80 以上

応募

●必要書類の提出

※書類作成に関する注意点 明確な目的、十分に練られた実行性のある研究計画、留学先大学・受け入れ機関でなければならない理由、留学に対する意欲等が伝わるような書き方を工夫してください。

●説明会への参加

説明会は各プログラムの詳細な情報を対象学生に提供することを目的にしていますので、必ず参加してください。

選考

●ジョン万学生派遣プログラム選考委員会による書類審査と面接審査

英語でのスピーチの準備や質疑応答の準備を充分にしておいてください。受け入れる海外の大学によりスカイプ面接が課される場合もあります。なお、学部生からの成績も重視されますので、1年次から良い成績を取得するよう心掛けてください。

結果通知

●選考結果の通知

留学準備

●必要書類の提出

スケジュールに余裕をもって、ビザの取得、海外旅行保険の加入など手続きしてください。

●オリエンテーションへの参加

オリエンテーションでは、派遣先大学からの情報提供、健康管理に関する講習、緊急時への対応方法の説明など重要な情報を提供し、必要な手続きを行いますので、必ず参加してください。

留学生活

●各派遣大学にて実りある留学生活を送る

計画に基づき学業に専念してください。また、留学先のリソースを最大限に活用しつつ、留学先にも貢献できるよう努めてください。良き関係を構築し、将来に役立つネットワーク作りに励んでください。

帰国 報告書提出

●成果報告書の提出、報告会への参加

研究成果や滞在経験の報告が求められます。提出された報告はプログラム改善や次年度の派遣継続の検討などに活用されます。次年度の募集説明会に参加し、先輩としての経験を次の応募者に話すよう依頼する場合がありますので、次年度応募者に伝えられる優れた活躍をして来てください。